

各 位

2023年7月5日
SBIホールディングス株式会社

台湾半導体ファウンドリ大手 PSMC との日本国内での半導体工場設立に向けた 準備会社の設立に関する基本合意のお知らせ

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝、以下「当社」）は、台湾の半導体ファウンドリ大手Powerchip Semiconductor Manufacturing Corporation（代表取締役会長：黄 崇仁、以下「PSMC」）と日本国内での半導体工場設立に向けた準備会社を設立することについて基本合意いたしましたのでお知らせいたします。

日本政府は2021年6月に半導体・デジタル産業戦略を策定し、日本国内における半導体産業を抜本的に育成していくことの必要性を表明しました。その後、ロシアによるウクライナ侵略は世界の安全保障環境を劇的に変化させ、歴史的なインフレ、エネルギー価格の高騰、サプライチェーンの混乱等が顕在化するようになりました。

我が国においては、1990年代に半導体のグローバルシェア50%程度を誇っておりましたが、現在は同シェアが10%以下にまで下がっています。2030年までに世界の半導体市場は100兆円に達するとされており、日本が再び半導体産業を活性化するためには半導体産業をリードする台湾企業と提携をすることが成功への大きな鍵となってきます。

また、今後これまで以上に地政学リスクを考慮した調達にAI産業・自動車産業に限らずありとあらゆる産業で求められる中、日本が半導体のグローバルサプライチェーンの起点となっていくことは中東、アジア及び欧米諸国からも求められてくると考えています。

このような中で、SBIグループは台湾の半導体ファウンドリ大手であるPSMCと日本での半導体工場の設立に向けた準備会社を共同設立することについて基本合意いたしました。PSMCは台湾3位、世界6位の半導体ファウンドリ大手であり、メモリとロジックの両方を生産できる世界的にも稀有な企業です。

また、多くの半導体企業は最先端または先端技術に特化した投資をしていますが、PSMCは車載向け半導体需要の90%以上を占めるとされている28nm以上の半導体を高品質で安価・大量に生産するビジネスモデルを有しています。半導体は1つが欠けても製品にはなりません、PSMCはこれまで培ってきたノウハウを活用し、日本そして世界の半導体安定供給に寄与して頂きます。

今後、SBIグループとPSMCは準備会社を早期に設立し、同準備会社にて、工場立地場所の選定、事業計画の策定、資金調達の計画等を実施してまいります。工場の建設開始時期や稼働時期などの詳細については、改めて具体的になった時点で発表をさせていただきます。

当社としては「金融を核に金融を超える」という理念のもと、日本が再び半導体産業を勃興し、日本が半導体のグローバルサプライチェーンの起点となり、様々な産業の発展に寄与していけるように貢献してまいります。

【提携先の概要】

社名	Powerchip Semiconductor Manufacturing Corporation (力晶積成電子製造股份有限公司)
事業概要	スペシャリティーロジック、ニッチ市場向けメモリ、ディスク リートの半導体ファウンドリ事業
設立	1998年
代表者	黄崇仁 (Frank C.Huang)

以上

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126